

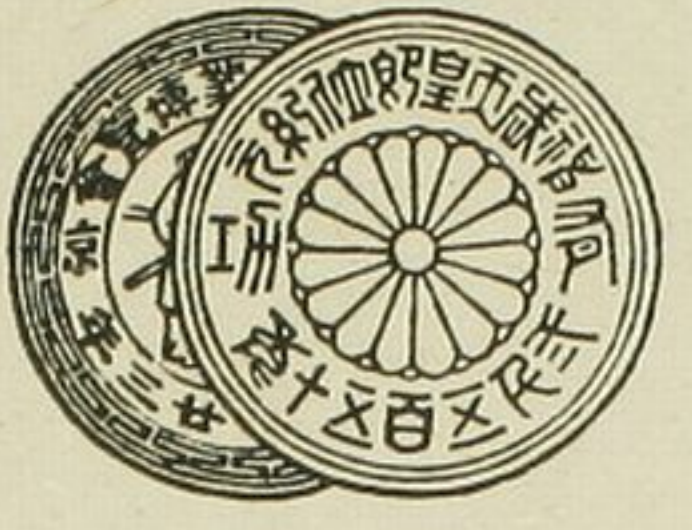
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

第四回内國勸業博覽會二等有功賞拜受

謹みて告す

一翁飴
右ハ奥御用ニ付精製の上來る廿五日迄ハ調進可致此段相達候也
宮内省 大膳職 印
十一月十一日
高橋孫左衛門

有功賞牌



新潟縣中頸城郡 高田町字横春日 高橋孫左衛門
一翁飴 二箱
大婚二十五年御祝典ニ付献納候段 御満足被思召候事
明治廿七年三月廿四日
宮内大臣子爵土方久元

一味ハ甘美淡泊にして胃を健全おして人身の滋養となる。若くものなかりけり抑も予が七代の祖享年年中、粟も製らむとを考へ一國産ともなきまはしと數多の年月思慮を苦しめ遂に粟飴翁飴を製りけりされども未だ精からざるを寛政の頃予が祖々父多年の経験と學理とを應用し糯と麥とをもて遠く佳香美味なる品となして今日及今迄製り來りぬきて同郷これに似たる者あれども其の色は透明ならぬと且つ味の清淡ならざる。越後粟飴の名世に聞へたり近來海外各國と交通開けし。萬づの物事改良の說頻りなまへ出ぬより一層品位を精良おし風味を甘美淡泊ならしめ明治十年第一内國勸業博覽會に出し發賣を得同十四年第二會賣店を設け之を賣り牛乳と成方比較分拆せし。應る滋養も富み且つ消化良きを以て大宮内省の賞賛を得て俄に海外へ輸出するの端を開きぬ。十一月宮内省の御用達を命ぜられ全廿二年農商務省にて買ひ上げられ佛國の萬博覽會に出だされし。第一層歐米人の賞賛を得て幾百倍の輸出を爲さるに至りぬ。全廿三年第三の會賣店を致せる所五月中宮内販賣せし。諸實の愛顧を受け分外の繁昌を致せる。所五月中宮内省より菓子類の貯蓄を堪ふ可者差出せし。命同會事務局へ達せし。そが中ハ弊舖製造の翁飴のみを擇拔せられ御用の寵命を蒙るのみならず審査の上優等品と鑑識認定せられ全會總裁の宮内三等有功の賞牌を下し賜はりぬ。全廿四年五月官報第二千三百五十五號ハ越後高田高橋孫左衛門製の粟飴は方今利才調胃解熱の良劑として世上知らる。獨逸製モルト、エキマ、諸らざるのみならず其色澤透明の點に於ては之れハ優れり。又た翁飴は最も精製せし。菓子ビスケット等と同効を有する一種の必要品なる旨掲載せらる。ハの名譽を得たり。同廿五年九月農商務省にて買上げられ米國「シカゴ」府萬國博覽會へ米麥の添品として出品せられし。同國より優等賞牌を贈らる。同廿七年三月大婚二十五年御祝典奉祝の爲翁飴粟飴を献納せし。み厚なくも上欄の御狀を下し賜はる。同年六月富山市設博覽會へ出品し銅牌を得たり。又頸城三郡有志の義捐を以て弊舖製翁飴を買入恤兵衛へ寄贈せらる。いて大坂に於て帝國占領地清國盛京省立病院御用品として海陸軍兩省より粟飴翁飴の御用を蒙る。名譽を得たり。期く近年ハ及びて販路の廣大なりしは全く諸實の御愛顧に因る所ならむ。か故に一層品位を精良ならしめ且つ其價を廉し。以て芳名を報ひ奉らむとを希くは各位倍舊の眷顧を垂れ給はんとを乞ふ。

商標 宮内省 御用

越後高田町 越後直江津字寄町 直江津支店
上田海ノ町 上田支店
大坂安土町堺筋 中村喜助
關西特約一手販賣 神戸港輸出代理店

